

機器のリニューアルのお知らせ



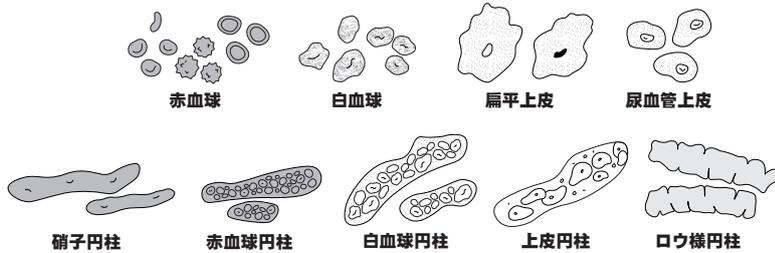
尿と血液検査の機器が新しくなりました。

まず尿検査では、腎尿路系（腎臓や膀胱など）疾患のスクリーニング検査や病態把握を行うために尿定性・尿沈渣検査を行っています。

当院の尿検査では**全自動尿分分析器**を用いた尿定性検査と目視による尿沈渣検査をしています。
この度、この全自動尿分分析器が新しくなりました。



◀全自動尿分分析装置
US-3500



■尿定性検査とは…

試験紙に尿を浸して行い主に蛋白、糖、潜血（赤血球）がどのくらい尿中に排泄されているか、試験紙の色調の変化により判定しています。

■尿沈渣検査とは…

自動分析装置だけでなく顕微鏡を使用して尿中に排泄されている有形成分（赤血球、白血球、円柱、細菌）の種類や数を調べています。



◀自動血球分析装置
XN-550



次に血液検査は貧血・白血病・出血傾向などの血液疾患の病態解析、診断、治療効果判定、経過観察、予後推定に欠かせない検査です。健康診断や人間ドックで受けた血液検査の結果が偶然に診断の端緒になります。

血液疾患以外の疾患に対しても血液検査は重要です。感染症・悪性腫瘍・肝疾患・腎疾患・代謝異常症・膠原病などあらゆる全身性疾患のスクリーニング検査として血液検査は有用です。

ここで結果を見た時、MCH・MCHCが何か分からないと思っただけではありませんか？これらの値は全て赤血球指数と呼ばれるもので貧血の分類をする際に用いるものです。それぞれ赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリットより計算できます。計算式は左記の通りです。

$$\text{MCV (fl)} = \frac{\text{Ht (\%)} \times 10}{\text{RBC(百万/}\mu\text{l)}}$$

$$\text{MCH (pg)} = \frac{\text{Hb (g/dl)} \times 10}{\text{RBC(百万/}\mu\text{l)}}$$

$$\text{MCHC (\%)} = \frac{\text{Hb (g/dl)} \times 100}{\text{Ht (\%)}}$$

（文責 臨床検査技師 前川 瑞希）